

# 川崎競馬倶楽部



JBC特別版

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4

川崎競馬倶楽部

2006年11月



これが川崎JBC攻略法だ！

川崎ジョッキーズが語る

ダートの祭典JBC。その第6回の舞台は川崎競馬場。マイル1600m、クラシック2100mの攻略ポイントを川崎ジョッキー達がアプローチ！

- 3コーナー手前ではいつでも動はける外側に位置取りたい。その差は大きい。(今野J)
- とにかくきついカーブです。向正面で一気に固まってくるので、ここで閉じこめられないようにしないと。(町田J)
- 2100は早め早めに3コーナーで動くことも大事。(酒井J)



2100mのスタート

- 2100mは枠順の影響はそうない距離。ただ特にキツイ3コーナーを最初に迎えるためできれば先行したい。馬をなだめて折り合いつけて、長い距離こそ前目の競馬をした方がいい。(森下J)
- 2100では一周目終わって2コーナーから急に速くなる。スローになりやすい傾向はあるが、ペースに対応できる馬がチャンスが多い。(佐藤博紀J)



1600mのスタート

GOAL

|     |       |
|-----|-------|
| ダート | 左回り   |
| 一周  | 1200m |
| 直線  | 300m  |
| 幅員  | 25m   |



- マイルはコーナーまで距離があるので枠順での有利不利はそうない。スタートして千四のスタート地点位までに思った位置につければ最高。(森下J)

川崎ダートコースの砂は宮城県松島産。海が隆起した場所から運ばれてくる。粒子が細か過ぎず水揚げが良いのが特徴。砂厚は8、5cm、内外の差は少ない。

- マイルでは長い1コーナーまでをスムーズに進めること。3コーナーからスピードアップするから、ここで不利があると取り戻せない。包まれないように、外に振られないように、前が詰まらないように。(佐藤博紀J)

- 2100は1周目のスタンド前でスローに落ちるから、ここで掛からないように折り合いに気を付ける。(山林堂J)

- 1600mはコーナーまで距離があるからペースが落ち着きやすい。良馬場なら前から行っても後ろからでもチャンスがある。(今野J)

- コーナーで動けないコースです。カーブがきついから内から出すこともできないし、外を大きく回ればとりかえしのつかない不利。とにかく先行有利。川崎の直線は届きそうで、実は届かないんですよ。テンに行けない馬でも、とにかくコーナーまでにその馬の位置取りにつくこと。(酒井J)

## ★ロジータ記念G2★2100m 11月2日



平成2年に創設された3歳牝馬重賞。川崎が生んだ名牝ロジータを記念したレースである。今年で17回を数える。

第12回までは年末開催に実施されていたが、以降は秋に移行。距離も8回までは2000m、それ以降は2100m戦に変更されている。

昨年はグローバルリーダーが渾身の差しきり勝ち。クラシック不出走組が上位を独占するという波乱の結末となった。東京プリンセス賞、関東オークスを勝って二冠牝馬となったテンセイフジが人気を集めていたが直線追い込めず4着。

## ★ローレル賞G3★1600m 11月3日



ローレル賞は平成14年に創設された牝馬重賞で、ファン公募によって命名された。当初は3歳春のクラシックへ向かう乙女たちのステップレースとして位置づけられていたが、第3回から2歳秋施行となり今年で第6回目。暮れの東京2歳優駿牝馬トライアルとして1～3着馬には優先出走権が与えられる。

昨年の覇者はダガズアラベスク。好位から直線抜け出すと7馬身突き放す圧勝劇。つづく東京2歳優駿牝馬も制した。しかしながら脚部不安を発症し長期休養を余儀なくされている。ローレル賞で7着だったチャームアスリプがその後頭角をあらわし南関東初の牝馬クラシック三冠馬に輝いた。



美味しいJBC\*\*\* 過去5年JBC開催ご当地の味を川崎で。



江戸前「紅白丼」  
＜2号スタンド2階 当たり寿司＞

JBC限定スペシャルメニューのなかでもめでたき一番！ 第1回、3回、4回JBC開催の大井競馬場をイメージした江戸前「紅白丼」(600円)。まぐろといかをふんだんに使った紅白の丼には、JBCの文字が刻まれた厚焼き玉子。当ててから食べるか、食べてから当てるか！！



名古屋名物「きしめん」  
＜2号スタンド2階 大楠庵＞

川崎きっての蕎麦の名店「大楠庵」が第5回JBCメモリアルとして「きしめん」に挑んだ。きしめんの美味しい店に足を運んで研究。関東の色濃いツユではなく色薄い関西風にしっかり味を出した自信作。ふんわりと花かつおをのせた本場さながらの味。温かいきしめん(600円)のほか、冷たい五目きしめん(700円)もあり。



ジャージャー麺  
＜2号スタンド1階ラーメン坊＞

第2回JBC開催は盛岡競馬場。そのメモリアルメニューとして、盛岡名物「じゃじゃ麺」のルーツともいわれる中華麺の「ジャージャーメン」が登場。特製甘辛みそだれにキュウリを添えた汁なし麺。香港で修行した料理長が腕をふるう絶品の味。



JBCカプチーノ

食事のあとにはこちらがオススメ。挽きたてのエスプレッソに、泡立てたミルクとココアパウダーで「JBC」の文字が浮かび上がりとてもお洒落「JBCカプチーノ」(300円)。2号スタンド2階のエスプレッソ・バーは本格イタリアンコーヒーが飲める店。浮かび上がる文字と一緒に勝利の象徴ローレルが描かれるが、ご希望の方にはハート柄の特別オーダーも。

2号スタンド2階  
エスプレッソ・バー



2006年川崎競馬場調教師勝鞍ベスト20  
(10月17日現在)

| 順位 | 氏名     | 出走数 | 1着 | 2着 | 3着 | 連対率  |
|----|--------|-----|----|----|----|------|
| 1  | 八木 仁   | 160 | 34 | 22 | 10 | 35.0 |
| 2  | 池田孝    | 135 | 32 | 17 | 13 | 36.3 |
| 3  | 佐々木 仁  | 220 | 30 | 24 | 20 | 24.5 |
| 4  | 高月賢一   | 179 | 29 | 15 | 27 | 24.6 |
| 5  | 内田勝義   | 172 | 27 | 16 | 14 | 25.0 |
| 6  | 足立勝久   | 124 | 23 | 12 | 20 | 28.2 |
| 7  | 岩本 洋   | 187 | 21 | 17 | 24 | 20.3 |
| 8  | 久保秀男   | 118 | 19 | 16 | 5  | 29.7 |
| 9  | 長谷川運太郎 | 90  | 19 | 6  | 6  | 27.8 |
| 10 | 武井榮一   | 189 | 18 | 19 | 22 | 19.6 |
| 11 | 秋山重美   | 146 | 18 | 14 | 15 | 21.9 |
| 12 | 鈴木敏一   | 148 | 17 | 11 | 19 | 18.9 |
| 13 | 山崎尋美   | 190 | 16 | 23 | 27 | 20.5 |
| 14 | 安池成美   | 140 | 14 | 17 | 12 | 22.1 |
| 15 | 高月由次   | 97  | 12 | 16 | 13 | 28.9 |
| 16 | 河津裕昭   | 127 | 11 | 17 | 12 | 22.0 |
| 17 | 長谷川三郎  | 121 | 11 | 11 | 15 | 18.2 |
| 18 | 長谷川 茂  | 88  | 11 | 9  | 13 | 22.7 |
| 19 | 原 三男   | 78  | 10 | 6  | 4  | 20.5 |
| 20 | 田邊陽一   | 126 | 8  | 17 | 11 | 19.8 |

2006年川崎競馬場騎手勝鞍ベスト20 (10月17日現在)

| 順位 | 氏名(所属)    | 騎乗数 | 1着 | 2着 | 3着 | 連対率  |
|----|-----------|-----|----|----|----|------|
| 1  | 内田博幸(大井)  | 372 | 99 | 61 | 47 | 43.0 |
| 2  | 今野忠成(川崎)  | 328 | 61 | 41 | 33 | 31.1 |
| 3  | 的場文男(大井)  | 345 | 60 | 50 | 49 | 31.9 |
| 4  | 酒井忍(川崎)   | 299 | 40 | 39 | 29 | 26.4 |
| 5  | 佐藤博紀(川崎)  | 343 | 31 | 31 | 37 | 18.1 |
| 6  | 山崎誠士(川崎)  | 301 | 26 | 31 | 37 | 18.9 |
| 7  | 町田直希(川崎)  | 325 | 24 | 34 | 38 | 17.8 |
| 8  | 金子正彦(川崎)  | 262 | 19 | 34 | 41 | 20.2 |
| 9  | 石崎隆之(船橋)  | 155 | 18 | 17 | 15 | 22.6 |
| 10 | 山田信大(船橋)  | 168 | 14 | 7  | 19 | 12.5 |
| 11 | 森下博(川崎)   | 159 | 13 | 15 | 17 | 17.6 |
| 12 | 戸崎圭太(大井)  | 158 | 13 | 14 | 13 | 17.1 |
| 13 | 左海誠二(船橋)  | 123 | 13 | 10 | 13 | 18.7 |
| 14 | 山林堂信彦(川崎) | 172 | 10 | 12 | 21 | 12.8 |
| 15 | 石崎駿(船橋)   | 148 | 9  | 12 | 11 | 14.2 |
| 16 | 水野貴史(浦和)  | 120 | 9  | 9  | 9  | 15.0 |
| 17 | 張田京(船橋)   | 79  | 9  | 9  | 8  | 22.8 |
| 18 | 坂井英光(大井)  | 94  | 9  | 5  | 6  | 14.9 |
| 19 | 岩城方元(川崎)  | 99  | 7  | 3  | 4  | 10.1 |
| 20 | 佐藤隆(船橋)   | 47  | 6  | 7  | 2  | 27.7 |

郷間勇太騎手デビュー



ＪＢＣスペシャル開催で騎手デビューを飾る郷間勇太(ゴウマ・ユウタ)騎手。川崎市出身の18歳。「母親の知り合いが馬主さんで騎手になることをすすめてくれました」というのが志すきっかけ。地方競馬教養センターに入る2日前に所属予定の調教師が死去するという憂き目もあったが「頑張ればチャンスもある」と鬼沢調教師と出会うに至る。入学時9人いた同期が卒業時にはわずか3人。「自分は自分。ライバルは自分自身」という勝ち気さは騎手向きといえるだろう。「今野さんのように人当たりが良くて追えるジョッキーになりたいです。実習の時から色々教えていただいて尊敬してます。減量特典を返上できる騎手になれるよう頑張ります。それまでは坊主でいます!」と意気揚々。特技はモノマネという陽気さでスター性十分。勝負服は白黒ダイヤモンド、袖黒。

\*川崎競馬のもうひとつの華\*



誘導馬といえば、これからレースへ向かう競走馬たちを本馬場入場で導く大事な役割を担っているが、最近の川崎競馬ではそれだけではない楽しみをファンに与えている。これまでのサンタクロース&トナカイのクリスマス仕様や、正月開催で獅子舞など特別な開催だけではなく通常開催でも毎回趣向を凝らした装飾で注目を集めている。2006年のテーマは「花」。誘導を担当している秦野国際乗馬クラブの金子裕香里さん、坂井田淑子さん、土屋裕恵さんの3人がアイデアを出し合って手作りする装飾で、ユーコースプリング、トライアンフオーチそしてＪＢＣ開催で誘導馬デビューするトゥインクルジョイの3頭のたてがみや尻尾を飾り付けていく。母の日にはカーネーション、夏には七夕や祭モードでお色直し。果たしてＪＢＣではどんな装飾が施されるのか。「薔薇と金をイメージします!」とのことだが、どんな愛らしい姿で登場するのかお見逃しなく!



川崎競馬倶楽部とは・・・

1990年に設立された川崎競馬の公認ファンクラブ。現在まで女性だけで運営されており、開催ごとに川崎競馬場内で情報紙「川崎競馬倶楽部」を発行する。重賞特集や騎手・調教師データ、入退席情報、川崎競馬にまつわる馬や人のエピソード等はサイト上でも公開され、ホームページと連動して活動する。2002年には川崎競馬公式サーバーから独立し、http://www.kawasakikeiba.comを立ち上げた。川崎POG参加者募集中!

■川崎競馬グルメランキング BEST 3■

競馬界でもハイレベルとされる川崎競馬場グルメ。競馬を見ながらちよいとつまみ、じっくり競馬新聞ながめつつ腰を据えて味わうあの味の味。チープで美味しい川崎競馬を代表するB級グルメをファン投票によりランキング。腹ごしらえの参考にどうぞ。

【第1位】パドック横の「スパイシー焼きそば」



堂々第1位に輝いたのは行列のできる店として知られるパドック横の焼きそば(400円)。これでもかと大盛りに盛られる風情にまずは驚く。最初の一口目には甘味が飛び込んでくるのだがそのあと口中に熱さが広がる。かなりスパイシーな辛さだ。具はキャベツ、干しエビ、隠し味に玉ねぎ少々とシンプルなのに旨い。たっぷり胡椒のパンチが効いている。

【第2位】3号スタンド2階「タンメン」



川崎名物タンメン健在。一昨年に名物店主が引退。新たなスタッフでのリニューアルとなったが、メニューがタンメンのみというポリシーも極上の白湯スープもむしる強化されたくらい。豚肉、キャベツ、ニラ、ニンニク、にんじん、もやし、玉ねぎと野菜たっぷりヘルシー感覚。一味唐辛子をじっくり揚げて作る特製ラ油をたっぷり掛けて召し上がれ。

【第3位】第2入場門並び「コロッケ」



「揚げたてのホクホクを食べてほしいから作り置きはしません」とこだわりのコロッケが大評判。直径は12センチ厚さは3センチはあるのかというビッグサイズ。松平美枝さんが手作りするコロッケは1日300個が限界というから売切れ後免。150円という価格は超リーズナブル。じゃがいもにからむスパイシーさはやみつきになりそう。

◆◆ロジータ伝説◆◆  
～ 女傑として、母として ～



ＪＢＣマイル同日に行われるロジータ記念。17回を数える。ロジータは平成2年の川崎記念を最後に引退し、同年12月には第1回ロジータ記念が実施された。15戦10勝。3歳(現2歳)秋にデビューしわずか1年半という短い競走生活の中に牝馬ながらクラシック三冠達成という偉業にくわえ、川崎記念、東京大賞典、報知オールスターC、京浜盃、ニューイヤーCと8つのタイトルを独占。語り継がれるべき最強牝馬である。「3歳の6月でしたか、ロジータが初めて馬場に入った日を今でも想い出します。トモがカンガルーみたいにバネがあって、あの馬は何だと聞いてくる調教師さんもありました」ロジータの育て親である福島幸三郎調教師。「15戦のうち13走が重賞でした。トウケイグランディという男馬が大井にいて、いつもレースが一緒。トウケイグランディの後でレースをするように指示を出したんですが、相手も然るもの、逃げたり差したりいろんなレースをするわけ。それでもロジータは全部負けました。どこからでもレースができましたからね。騎手を育てる馬でもありました」。すでに20歳。初仔のシスターソノから始まってイブキガバメント(朝日杯CC)、カネツフルーヴ(川崎記念・帝王賞)、アクイレジア(JDD②)など子供達の活躍は神々しいばかり。さらに孫のレギュラーメンバー(ＪＢＣクラシック・川崎記念)等へと血のドラマは継がれ、今は母として最強牝馬伝説は続く。

そしてついに今年、13番仔であるアイノイズミが初めて母の育った川崎に入厩。ＪＢＣ開催で2戦目を迎える。「体型などは祖母のメロウマダングに似た印象がありますが、最近では母ロジータと同じように馬房の天井届くくらいまで蹴り上げる癖が出てきましたね。一戦経験したことで闘志が出てきたんでしょうか。ロジータはもう高齢ですが、母体として若い。引退が絶頂期で惜しむ声も多かったんですが、早い時期に繁殖入りさせたことが結果的に成功だったと思います。今はクロフネの仔がお腹にいます。当初は母性がないのでは?と思ったりもしていましたが今は仔馬にベタベタの良いお母さんです」



◆◆川崎Jockeys◆◆ <成績は10月17日現在>

■一ノ瀬 亨■



49歳 AB型  
胴桃・紫星散らし、袖白  
昭和50年5月  
11092戦999勝

■岩城 方元■



39歳 A型  
胴赤・袖白縦縞  
昭和40年10月  
4246戦273勝

■金子 正彦■



43歳 O型  
桃、紫のこぎり歯形  
昭和54年11月  
11907戦1043勝

■今野 忠成■



29歳 A型  
胴緑・袖白緑二本輪  
平成6年10月  
8764戦1013勝

■酒井 忍■



33歳 A型  
青  
平成3年4月  
10629戦1176勝

■佐藤 博紀■



27歳 A型  
白、青のこぎり歯形  
平成10年10月  
2835戦170勝

■山林堂 信彦■



28歳 A型  
胴白・桃山形一文字・袖青  
平成9年4月  
1602戦66勝

■中地 雄一■



20歳 B型  
胴紫・黄山形一文字・袖桃  
平成16年4月  
109戦0勝

■拜原 靖之■



24歳 O型  
青・山形一本輪・袖青  
平成13年10月  
503戦23勝

■藤江 渉■



24歳 O型  
胴黄・青二本輪・袖青  
平成11年10月  
4146戦313勝

■前住 和寿■



22歳 B型  
黄・右紫襟・袖紫二本輪  
平成14年4月  
908戦51勝

■増田 充宏■



23歳 O型  
胴緑・黄星散・袖黄・緑二本輪  
平成14年11月  
656戦20勝

■町田 直希■



18歳 A型  
黄  
平成17年4月  
865戦63勝

■森下 博■



51歳 O型  
胴赤・袖白・赤二本輪  
昭和48年11月  
20139戦2511勝

■山崎 誠士■



22歳 O型  
赤  
平成15年10月  
1595戦129勝

■山野 勝也■



29歳 O型  
胴赤白元禄・袖黄  
平成6年5月  
2320戦140勝